

アンデルセン 原作 60分

おう

さま

劇団め組名作劇場

Aグループ作品

低学年用 | 高学年用

はだかの王様



昔々、ある国に新しいきれいな服が大好きで、星の数ほど服を持っているおしゃれな王様がいました。その王様のもとへ仕立て屋をよそあった二人のいかさま師がやってきます。彼らは“なまけ者や、心のきたない人には見えない不思議な服”を作ることが出来ると言います。それを聞いた王様は大喜びで注文をします。

しかし、それはまっかなウソ！

目の前にあるはずの布地が王様の目には全く見えません。王様はうろたえますが、大臣たちの手前本当の事は言えず、なまけ者や心がきたないと思われたくない一心で見えもしない布地を褒め上げます。大臣たちも自分たちには見えないものの本当の事を言い出すことができませんでした。

とうとう王様は、見えない服を身にまとい、はだかで町を行進することになるのです。町中の人たちもなまけ者と思われてはいけないと、同じように衣裳を褒め称えますが、王様を見て一人の少年が叫びます。

「王様は、はだかだ！！」

さあ、本当のことを言ってしまった少年は、どうになってしまうのでしょうか？



劇団め組は昭和59年より“愛と感動を届けよう”と全国の会館や小・中学校に、世界の名作の巡回公演を開始しました。私達は全国の子供達に『愛とは、友情とは、そして勇気や真の正義とは一体何か』等の人間としての普遍的なテーマを問い続けていきたいと願っております。これからも江戸時代の火消し集団“め組”のように、若さと躍動感に溢れ、情熱と誇りを失わず、より良い作品をお届けいたします。

芥川龍之介 原作 80分

杜子春



杜子春は、貧しい生活と母親を故郷に残し、唐の都洛陽にやって来ました。見知らぬ土地でお金を盗まれ途方に暮れていますと、そこに鉄冠子と云う仙人があらわれます。「お前の望みを一つだけ叶えてやろう」杜子春は即座に答えます。「お金が欲しい」と・・・。

望み通り、杜子春は洛陽一の豪華な生活を送りますが、やがてお金を使い果たし無一文となりお金の空しさを知ります。再び目の前に現れた鉄冠子に、杜子春は今度はこう言います。「仙人になりたい」と・・・。

杜子春は鉄冠子の弟子になります。

修行の為、峨眉山に一人残された杜子春は、どんな恐ろしい目にあっても一言も口をきかず、無言でじっと耐えなければなりませんでした。しかし、最後に地獄で母親が鞭打たれるところを見て、ついに禁を破ってしまうのです。

「お前があのままでいたなら、私は、お前を見捨てただろう」と鉄冠子は打ち明けます。杜子春は仙人にはなれませんでした、苦しみながらも杜子春を思う母親の心を知り、人間にとってなにが大切かということを学んだわけです。



(株)劇団め組

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-35-10

TEL:0422-22-0749 / FAX:0422-22-0294

■ホームページアドレス <http://www.gekidan-megumi.co.jp/> ■メールアドレス info@gekidan-megumi.co.jp